

執筆者略歴

石津 朋之（いしづ ともゆき）

防衛研究所戦史研究センター 国際紛争研究室長

独協大学およびロンドン大学教養課程（ICC）卒業、ロンドン大学 SOAS 大学院修了（修士）、同 KCL 大学院修了（修士）。ロンドン大学 LSE 博士課程中退、オックスフォード大学大学院研究科修了。

ロンドン大学 KCL 名誉客員研究員、防衛研究所助手、主任研究官などを経て 2011 年から現職。

著書に『シリーズ軍事力の本質① エア・パワー—その理論と実践—』（編著、芙蓉書房出版、2005 年）、『21 世紀のエア・パワー—日本の安全保障を考える—』（編著、芙蓉書房出版、2006 年）などがある。

沼上 幹（ぬまがみ つよし）

一橋大学副学長、一橋大学大学院商学研究科教授、組織学会会長

一橋大学社会学部卒業、同大学大学院商学研究科修士課程修了、同大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学、一橋大学博士（商学）。

一橋大学商学部、ウォーリック・ビジネス・スクール客員研究員、一橋大学大学院商学研究科長・商学部長などを経て、2014 年から現職。

著書に『ゼロからの経営戦略』（ミネヴァ書房、2016 年）、『組織デザイン』（日本経済新聞出版社、2004 年）、『組織戦略の考え方』（筑摩書房、2003 年）などがある。

菊澤 研宗（きくざわ けんしゅう）

慶応義塾大学商学部教授、経営哲学学会理事（元会長）、日本経営学会理事、経営行動研究学会理事。

慶応義塾大学商学部卒。同大学院商学研究科修士課程修了、同大学院商学研究課博士課程単位取得退学、慶応義塾大学博士（商学）。

防衛大学校教授、ニューヨーク大学経営大学院客員研究員、中央大学教授、UCパークレー経営大学院客員研究員などを経て2006年から現職。

著書に『組織の不条理—日本軍の失敗に学ぶ』（中公文庫、2017年）、『戦略学—立体的戦略の原理—』（ダイヤモンド社、2008年）、『組織の経済学入門—新制度派経済学アプローチ—』（有斐閣、2006年）などがある。

相澤 淳（あいざわ きよし）

防衛大学校教授

防衛大学校卒業、上智大学大学院国際関係論専攻博士前期課程修了（国際学修士）、同博士後期課程満期退学、同大学博士（国際関係論）。

防衛研究所、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス客員研究員、防衛研究所戦史研究センター 安全保障政策史研究室長などを経て、2017年から現職。

著書に、『海軍の選択—再考 真珠湾への道—』（中央公論新社、2002年）、「ロンドン会議後の航空軍備と山本五十六」『日本海軍史の研究』（吉川弘文館、2014年）などがある。

小森 篤（こもり あつし）

2等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室

防衛大学校卒業、防衛大学校総合安全保障研究科前期課程（安全保障学修士）、防衛大学校総合安全保障研究科博士後期課程退学、防衛大学校防衛学教育学群戦略教育室などを経て現職。論文に「戦間期における米陸軍航空のエア・パワー—『静かなる建設者』がイノベーションに果たす役割—」（『エア・パワー研究』第3号、平成28年）がある。

山下 愛仁（やました あいひと）

1等空佐 航空研究センター研究企画管理室長

駒澤大学法学部卒業、駒澤大学法学研究科博士後期課程満期退学、第48期指揮幕僚課程修了、第57期防衛研究所一般課程修了。第22高射隊長、航空幕僚監部法務官（企画・訴訟担当）、自衛隊静岡地方協力本部長、航空幕僚監部服務室長などを経て現職。

駒澤大学非常勤講師（平成23年度、平成24年度）、慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師（平成29年度）、著書に『国家安全保障の公法学』（信山社、2010年）があるほか、論文に「グレーゾーン事態への対応方法としての危機管理—その有用性と限界—」（『エア・パワー研究』第3号、2016年）などがある。

橋田 和浩（はしだ かずひろ）

1等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室長

防衛大学校理工学部卒業、防衛大学校総合安全保障研究科卒業（安全保障学修士）、第51期指揮幕僚課程修了、第32期統合幕僚学校特別課程修了。北部防空管制群（三沢）、警戒航空隊（浜松）、航空幕僚監部運用支援課（計画班、演習検閲班）、統合幕僚監部防衛課（防衛班）、第3移動警戒隊長などを経て現職。要撃管制官。

前田 行雄（まえだ いくお）

防衛事務官 作戦情報隊情報資料群技術調整官

君津農林高校卒業、第1補給処、第2補給処、第3補給処、補給本部、航空幕僚監部監理監察官付、海上自衛隊航空補給処計画部情報処理課長、航空研究センター防衛戦略研究室国際情勢分析官などを経て現職。

天貝 崇樹（あまが い たかき）

3等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室

防衛大学校卒業、第2移動警戒隊、第23警戒群、中部防空管制群、北部航空警戒管制団司令部、第4術科学校、航空総隊司令部飛行隊、電子作戦群などを経て現職。要撃管制官。

片桐 範之（かたぎ り のりゆき）

セントルイス大学政治学部助教授、航空自衛隊幹部学校客員研究員（2016－2018年）

サウスカロライナ大学卒表、コロンビア大学国際関係論修士課程修了、ペンシルベニア大学政治学修士課程修了、同大学政治学博士号（国際関係論）取得。

米空軍 Air War College 助教授を経て2015年から現職。台湾国防大学、フィリピン大学、アサン研究所（韓国）、慶応義塾大学、平和安全保障研究所で客員研究員。

著書に、『Adapting to Win: How Insurgents Fight and Defeat Foreign States in War』（University of Pennsylvania Press, 2014年）がある。